

災害救助訓練場、災害の多様化に対応



公明党県議団が2016年に提案した神奈川版「ディザスター・シティ（災害救助訓練場）」。

神奈川県は2018年、市町村の消防職員や消防団員の災害対応能力を強化するため、市街地の災害現場をリアルに再現した米国の「ディザスター・シティ」をモデルにした災害救助訓練場を県消防学校（厚木市内）に開設しました。

機能を拡充

この訓練場は全国最大規模で、家屋倒壊や土砂埋没、浸水などを想定した実践的な訓練ができる多様な施設があります。近年、火災に加えて大地震の揺れや液状化による家屋倒壊など、災害が多様化していることから、県は想定し得る災害現場を再現するため、訓練場の機能を拡充しました。

新たに整備された施設のうち、街区火災に対応するための訓練施設は、移動可能な2階建ての模擬家屋が3棟設置され、家屋密集地域の火災現場を再現した訓練を可能にしました。

河川救助訓練の強化へ、河川を再現した既存の水路に移動可能な橋を整備。土砂埋没救助時における重機の操作を習熟するため、救助用の油圧ショベルを2台導入しました。

このほか、がれき救助訓練施設には、ビル倒壊を想定して形状が異なるがれきを配置。倒壊した建物の内部を確認するため、微細な音や振動を感知する地中音響探知機や内視鏡の一種であるファイバースコープを活用して訓練できる環境を整えました。

県消防学校の中村純也校長は、災害の激甚化に伴って多様な救助訓練の必要性が増していることを踏まえ、「一つとして同じ災害はない。災害現場のモデルをより詳細に設定できるようにしたい」と話しています。



Profile

谷口 和史 プロフィール

神奈川県議会議員 4 期目
公明党神奈川県議団 団長

委員会

総務政策常任委員会

LINE



facebook



X



Instagram



KAZUFUMI.TANIGUCHI

県政報告



ブログ



県議会控室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県議会公明党控室 TEL:045-210-7630/FAX:045-210-8912